

# 学校教育推進室だより

東大阪市教育委員会 学校教育推進室 令和8年1月8日

〒577-8521 東大阪市荒本北一丁目1番1号 TEL06-4309-3268

学校教育基本目標

すべての子どもに生きる喜びとあすをつくる力を

重点目標

総合的視点に立つ教育の推進

人権尊重に徹した教育の実践

「探究と対話」をもとに学び続ける教職員へ

信頼に応える学校づくり

学校園・家庭・地域の協働

## 東大阪市の学校にアスリートが来てくれました!

この事業は、アスリートと子どもたちの交流の中で、競技経験から得られた知見を活かした技術指導や自身の体験から感じたスポーツの価値を伝えることで、子どもたちが「わかる・できる」を体感したり、運動やスポーツの意義を感じたりすることにより、自ら運動する意欲を喚起することなどを目的にスポーツ庁主管により実施されているものです。東大阪市の学校にも著名な選手が来てくださり、直接指導して下さるだけでなく、自身の経験から、子どもたちを勇気づける力強いお話をさせていただきました。

のぶさわ ようしゅう

信沢 用秀 さん [元日本代表チーム・キャプテン] ゴールボール

実施校…若江中学校

### 垣根を越えてみんなでできるスポーツを学ぶ授業

信沢さんは、先天性網膜芽細胞腫により、生まれつき視力はほとんどなく全盲でしたが、高校1年生のときに視覚支援学校の部活動で本格的にゴールボールの練習に取り組み始め、19歳で初めて日本代表となって以来、長く日本代表としてプレーし、チームの中心として活躍されてきました。



講話では、視覚障害について、その見え方や考え方を説明し、障害は不便ではあるが、不幸せなことではないということを伝えてくださいました。また、ご自身のこれまでの体験を通して様々なことを学んだことから、体験することの大切さを教えてくださいました。

実技指導では、床に手をつきながら、体を大きく広げる基本の姿勢や、体全体を使ってボールを止める動きを教えていただき、子どもたち一人ひとりが一生懸命に取り組む姿が印象的でした。

かとう りおな

加藤 梨緒菜 さん [元日本代表] フィギュアスケート

実施校…八戸の里小学校

### 夢・努力・あきらめない心の大切さを伝える授業

加藤さんは、3才からスケートをはじめ、ジュニア時代や全日本選手権でも活躍され、アジア選手権では2位の実績を残されています。



講話では、夢を持つことの大切さをテーマに、夢とは人と比べるものではないこと、途中で変わってもよいこと、そしてその夢をかなえるためには、はじめの一步が大切であることを教えてくださいました。

思った通りに行かなくても、あきらめない心を持つことが大切で、「どんな出来事にも意味や学びが隠れているよ」と伝えてくださいました。

前向きな気持ちになれるお話を聞いたあとの実技指導では、子どもたちは、加藤さんの動きを真剣に見つめ、教わったことを表現しようと一生懸命に取り組んでいました。

アスリートとの直接的なふれあいの中で、多くの子どもたちが感銘を受けていました。東大阪市から世界に羽ばたく大きな力を与えてもらえたと感じられる、充実した体験となりました。

## 豊かな言語活動を通じた、外国語学習による小中の学びのつながり

令和7年12月2日(火) 東大阪市教育センターにて、第2回外国語担当教員連絡協議会を開催しました。市立小中学校・義務教育学校の外国語担当教員が参加し、英語コーディネーター・小学校英語専科指導教員による「モデル授業」及び「実践報告」、そして、モデル授業を通して実感した『外国語の授業における大切な点』を軸とした「授業づくりのワーク」を行いました。



参加教員は、子どもの立場で授業に参加し、めあての設定、中間評価、発表の機会の確保等、子どもが英語で伝えたいと思える授業展開について、体験を通して学ぶことができました。

ワークでは、「楽しく英語で会話できるような環境を構成すること」、「つけたい力をつけられる単元デザインの重要性」などがキーワードになっていました。

### 《参加者の感想》

- 中学校に向けてどのような言語活動を行っていくべきかについて考えることができました。
- 『子どもにどのような力を身につけさせたいのか』を明確にした上で授業内の活動を構想することの大切さに気づきました。子どもの姿を具体的にイメージすることを、今後の授業に活かしていこうと思います。
- 子どもの気持ちが分かった研修でした。子どもたちは「言い方」や「やり方」が分かれば、どんどんチャレンジしていくと思います。そんな授業づくりをしていこうと思います。



## モノづくり体験教室の実施

モノづくり体験教室は、平成14年度より、地元企業で組織されているNPO法人地域活性化支援機構・モノづくり支援室・教育委員会が連携し、東大阪市内小学校の児童を対象に毎年実施しています。

令和7年度は、地元企業の方が市内35小学校を訪問し、講師として延べ3,045名の児童に対して下記の体験教室を実施していただきました。

子どもたちにとって、様々な道具を使いモノづくりの楽しさを体験すること、地元にある企業を知ること、そこで働く人の話を聞くことは、『モノづくりのまち 東大阪』にふれる貴重な機会となっています。

また、こういった機会を通して、子どもたちが将来の夢や目標を持ったり、自分の将来の展望を見据えたりすることへの一助となることを願っています。

### ネジの仕組み



### 今年度の実施講座(全14講座)

- ワイヤーアート
- 紙ぶくろを作ろう
- 磁石
- めっき加工
- ひな工作
- ネジの仕組み
- 工具
- 段ボール貯金箱
- SDGs まんげきょう作り
- 作図・サイコロを作ろう!
- ミノルキューブ
- 紙バネ
- ロケットを創ろう
- レザークラフト

### ワイヤーアート



### 【子どもたちの感想】

- ・作り終わった時の達成感があつてとても面白かった。
- ・東大阪ならではのモノづくりで、どんな仕事かが分かった。
- ・図工と違ってSDGsが学べていい学習になりました。